

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
こども学科											
乳幼児保育 I											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	石川素子			実務 経験	有	職種	保育士				
授業概要											
乳児保育の現状と課題を理解し3歳未満児の発達と保育について学ぶ。映像や事例を活用し、グループワークなどを通して理解を深めていく。乳児の発達を考える上で、年齢にふさわしい玩具づくりも行っていく。授業に主体的に参加するなかで、自分のあるべき保育者像を自分自身の言葉で語り、子どもの健やかな発達の援助ができるようになることを目指す。											
到達目標											
乳児保育の現状を知り、その意義及び課題を理解する。保育者として乳児保育の意義と課題に向かう姿勢を身につける。乳児の発達と玩具の関係性を理解し、保育の専門家として、玩具を選び提供できるようになる。乳児の発達や発達過程を知り、子どもの主体性、人権を尊重した保育観や保育内容を説明できるようになる。様々な事例を調べることを通して、乳児保育の保育者として必要な援助の方法を習得する。											
授業方法											
映像や事例、玩具に触れながら個人ワークやグループワークをとりいれる。他人の意見をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。発表者・司会を交替で行う中で、話題をまとめていく力もつけていく。この授業に主体的に参加する学生が、自分のあるべき保育者像を自分自身の言葉で語り、子どもの健やかな発達の援助ができるようになることを目指す。											
成績評価方法											
授業の内容に関する小テストによる理解度（評価の50%） 平常点（授業への参加姿勢・課題の提出状況及び内容）（評価の50%）											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。保育者の役割の一つに”子どもの模範となる”ことがあることから、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。											
教科書教材											
『保育所保育指針解説書』＜最新版＞厚生労働省フレーベル館2018年 授業中に適宜資料を配付する											
回数	授業計画										
第1回	乳児保育とは何か										
第2回	「保育所保育指針」における乳児保育の理念と概念										
第3回	乳児保育の始まり										

乳幼児保育 I

第4回	6か月未満の子どもの育ちと内容①
第5回	6か月未満の子どもの育ちと内容②
第6回	1, 2歳児の保育のねらいと内容①
第7回	1, 2歳児の保育のねらいと内容②
第8回	保育所・認定こども園における乳児保育
第9回	乳児院における乳児保育
第10回	子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境
第11回	乳児保育の基礎知識
第12回	子育て支援における乳児保育
第13回	保護者とのパートナーシップ①
第14回	保護者とのパートナーシップ②
第15回	職員間・地域の関係機関との連携